

令和5年8月4日

福祉教育ボランティア 養成研修会



01

講義

「福祉教育とは、何か
～福祉教育の基本的な考え方について」

順天堂大学スポーツ健康科学部
先任准教授 松山 毅 氏



- 感想：・体験が目的ではなく、目的をはっきりさせるという事を体験学習で活かしたい。
・福祉体験学習のねらい、留意点を意識することの大切さを学んだ。
・福祉教育を再確認できた。

02

グループワーク

「福祉教育のプログラム
を考えてみよう」



- 感想：・班で話し合いプログラムを決め、体験するプロセスが楽しく皆さんとコミュニケーションがとれた。
・プログラムの内容、ねらいを考えるのが難しかったが、どのようなことを学んでほしいか、みなさんと考えられて良かった。

03

疑似体験

「体験・まとめ・質疑応答」

- 感想：
- ・実際に体験して、子どもたちにどのように話をしてもよいかわかった。
 - ・「考える」「実践する」違いが多少あることに気づくことができた。
 - ・グループでの意見交換後に、話し合いながら体験できて良かった。
 - ・ユニバーサルデザインの体験が良かった。
 - ・知らなかったことを発見できた。危険をはっきり知ってもらうことも大切だということがわかった。
 - ・研修で学んだことを意識しながら、子どもたちに伝えていけるようになったら良いと思う。



本研修は、木更津市内の小・中学校で実施している「福祉体験学習」のサポート活動をするために必要な知識を深め、技能の向上を図るために毎年開催しています。

今回の参加者は42名（申込者49名）民生委員やボランティア団体、個人ボランティアの方々や、福祉教育に関心のある方など多くの方々にご参加いただきました。

